

平成25年度広島県合同輸血療法委員会

平成24年度事業実施報告

広島県合同輸血療法委員会の目的

広島県合同輸血療法委員会設置要綱（H23. 5. 25設置）

（目 的）

第1条 本会は、医療機関における輸血療法委員会相互の情報交換を図り、広島県内における輸血医療の標準化をめざすものとする。

委員会・研修会の開催状況

H23.5.25	広島県合同輸血療法委員会の設置 (医療機関16, 学識経験者3, 関係団体5, 事務局3)
H23.7.9	広島県合同輸血療法委員会の開催 ○H23年度活動計画について ○基調講演; 面川進先生(秋田県赤十字血液センター所長) ～秋田県合同輸血療法委員会による血液製剤適正使用推進～
H24.3.10	広島県合同輸血療法研修会の開催 ○病院における取組み事例 ○特別講演; 田崎哲典先生(東京慈恵会医科大学付属病院教授) ～適正輸血って何だろう～
H24.7.28	広島県合同輸血療法委員会の開催 ○H24年度活動計画について ○特別講演: 紀野修一先生(旭川医科大学付属病院准教授) ～旭川医科大学病院における輸血療法委員会活動～
H25.2.2	広島県合同輸血療法研修会の開催 ○H24年度アンケート調査結果○医療機関の事例発表 ○特別講演: 稲田英一先生(順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座教授) ～「危機的出血への対応ガイドライン」を生かすために～

平成24年度に実施した活動・事業

- 広島県合同輸血療法委員会 H24.7.28
- 広島県合同輸血療法研修会 H25.2.2
- 輸血療法に関するアンケート調査の実施 H24.11
- 医療機関からの相談応需事業
(実地指導)の実施 H25.1~2
- 広島県合同輸血療法委員会幹事会(4回)
 - ① H24.5.12, ② 9.8, ③ 12.15 ④ H25.3.16

広島県合同輸血療法委員会

- 日時 平成24年7月28日（土） 15時～17時
- 場所 日本赤十字社中四国ブロック血液センター
- 内容
 - 平成23年度の実績報告
 - 平成24年度活動計画について
 - 特別講演：
演題 「旭川医科大学病院における輸血療法委員会活動」
講師：紀野修一先生（旭川医科大学付属病院准教授）

広島県合同輸血療法研修会

- 日時 平成25年2月2日(土) 15時～18時
- 場所 広島県情報プラザ 多目的ホール
- 内容
 - 輸血療法に関するアンケート調査
 - 広島大学大学院 疫学・疾病制御学 田中純子教授
 - 医療機関の取組みについての事例発表
 - 広島大学病院, 福山医療センター, 庄原赤十字病院
 - 特別講演:
「危機的出血への対応ガイドライン」を生かすために
 - 講師: 順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック
講座 稲田英一教授

輸血療法に関する実態調査の実施

- **調査の目的**：広島県の医療機関における輸血療法の現状と実態を把握すること。
- **実施主体**：広島県合同輸血療法委員会
(平成24年度厚生労働省血液製剤使用適正化方策調査研究事業の一環)
- **調査期間**：平成24年11月14日～29日
- **調査対象**：平成22または23年度に広島県輸血用血液製剤供給量の上位75位であった全82医療機関
- **調査方法**：郵送によるアンケート調査(記名調査)
- **調査項目(抜粋)**：
 - 「医療機関の概要」(病床数及び診療科数等)
 - 「輸血療法委員会について」
 - 「現時点での輸血管理体制について」などの8分野・31項目
- **回答数/回収率**：68施設/85.9%

医療機関からの 相談応需事業(実地指導)の実施 1

1 目的

県内の医療機関において、血液製剤の適正使用について、指針への適合を模索している機関に対し、助言及び実地指導を行い、県全体の輸血療法の標準化を図ることを目的として実施した。

2 内容

各医療機関が、血液製剤をどのように使用しているか、実際に医療機関を訪問して確認し、医療機関からの相談に応需するものである。

医療機関からの支援要望に対して、施設規模にかかわらず輸血医療の底上げを図るもので、「出前研修とコンサルティング」をイメージしている。

日本輸血・細胞治療学会のI&Aマニュアルを参考に委員会で独自のチェックリストを作成し、医療機関及び訪問者の相互で確認しながら実施した。

医療機関からの 相談応需事業(実地指導)の実施 2

3 実施医療機関

- (1) 平成25年1月30日 病院A
- (2) 平成25年2月13日 病院B

4 実施者

広島県合同輸血療法委員会の委員(医師及び検査技師)
事務局(赤十字血液センター職員及び薬務課職員)

※ 一部外部委員に委託

計 4名

医療機関からの 相談応需事業(実地指導)の実施 3

5 実施結果の概要(主な相談内容及び指導内容)

- ・輸血療法委員会を規約内の組織とすることの検討
- ・書類等の電子化に際しての情報周知手段の工夫
- ・FFPの専用溶解装置の必要な部署への配置
- ・輸血療法のIT化推進(手術室等における患者認証と病院システムとの同期)
- ・廃棄率の減少に向けた取組(血液製剤の在庫状況確認システムの整備等)
- ・輸血後の検査の実施に向けての患者への説明方法の検討
- ・輸血後のバッグの保存実施
- ・血液製剤保管方法の適正化(自己血の専用保管庫の整備)

広島県合同輸血療法委員会幹事会

開催回	年月日	概要
第1回 (県庁)	H24.5.12 (土)	<ol style="list-style-type: none">1 平成23年度の報告2 平成24年度広島県合同輸血療法委員会の開催について3 平成24年度のアンケート実施について4 平成24年度委託事業への応募5 平成24年度年間計画
第2回 (赤十字血液センター)	H24.9.8 (土)	<ol style="list-style-type: none">1 県内医療機関への血液製剤使用状況等実態調査について2 医療機関訪問相談事業について3 平成24年度研修会について4 厚生労働省「血液製剤適正化方策調査研究事業」の受託について
第3回 (赤十字血液センター)	H24.12.15 (土)	<ol style="list-style-type: none">1 研修会の開催について2 医療機関からの相談応需事業について3 アンケート調査の状況について4 厚生労働省受託研究事業について
第4回 (県庁)	H25.3.16 (土)	<ol style="list-style-type: none">1 平成24年度輸血療法委員会報告書の作成について2 訪問相談事業の通知内容について3 平成25年度合同輸血療法委員会の開催について

今後の課題

県合同輸血療法委員会が、医療機関～血液センター～行政間における情報の共有と情報交換の場(軸)として活動を行い、輸血医療の標準化を進展させることを目指して活動を継続する。

- 合同輸血療法委員会及び研修会の開催の継続
- 県内医療機関への輸血療法に関する調査の継続
- 県内医療機関のレベルアップのための相談応需事業の継続
- 輸血医療の変遷に対応した活動・調査